

# 令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【馬宮西小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

① 目標・策		
	目標	策
知識・技能	R5年度さいたま市学習状況調査の算数の「知識・技能」に関わる領域において、R4年度の自校の結果より3pt向上させる。	⇒ 単元終了時などにドリルパークに取り組む時間を設け、集積したデータを分析し、児童の苦手分野を把握し、個別指導等で手厚く指導する。また、実際に生活場面で算数を結びつけて活用を図る。
思考・判断・表現	R5年度さいたま市学習状況調査の算数において「思考・判断・表現」を昨年度の自校結果より3pt上げる。	⇒ この問題は何を聞かれているのか、何を求めるのかを授業においてしっかりと把握するようにし、問題場面を簡単な図や数直線などに表して、正しく数の関係を理解する指導に取り組む。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度さいたま市学習状況調査「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか。」の質問項目において、肯定的な回答の割合を85%以上にする。	⇒ 児童のわからないにすぐ対応できるようにすべての授業を複数の教員で指導する体制を整え、「できる・わかる」喜びを味わわせたり、伝え合い活動を充実させたりする授業を実践する。

<小6・中3> (4月~5月)

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	R5年度全国学力・学習状況調査の算数の「知識・技能」に関わる領域において、R4年度の自校の結果より-0.2ptであった。数と計算の領域において、正答率が低く、小数の計算や計算のきまりといった基本的な問題に課題が見られた。計算タイムを活用し、全学年の履修事項についてもしっかりと復習を行わせていきたい。
思考・判断・表現	R5年度全国学力・学習状況調査の算数において「思考・判断・表現」を昨年度の自校結果より+1ptであった。折った紙の角度を求める問題では、正三角形の角は60度という知識はあるものの、折っているということに気付かず間違えてしまった児童が多かった。問題を正しく読み取れるよう指導に努める。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度全国学力・学習状況調査「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」では92%の児童が肯定的な回答をしていたが、「算数の勉強は好きですか」では50%の児童が否定的な回答をしている。身近な事象と結びつけながら、算数の学ぶ楽しさを味わわせる指導を継続していきたい。

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3		小4	
小5		小6	

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
	目標	策
知識・技能	変更なし	⇒ 変更なし
思考・判断・表現	変更なし	⇒ 変更なし
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒ 変更なし